

協同農業普及事業に関する所感

平成26年9月11日
株式会社生産者連合デコボン
代表取締役 井尻弘

1、 目的

農業者の所得向上
『成功事例を作る』

結果 ・ 農業者から信頼される
・ 農業が活性化する
・ 地域が元気になる ・ 成功事例を元に、みんながまねる

2、 採用基準および、採用資格の高度化

- 1、 適正でない人を採用しない
- 2、 資格は、10年以上の経験と、実績を積み重ねて、資格を与える
 - 例1 試験研究機関3年、普及員見習い3年、実践3年 市町村農政1年
 - 例2 適正と、実績を踏まえた 35歳以上をイメージ
 - 例3 現場経験と、高度な段階的試験に合格
 - 例4 医者、弁護士に近い専門的資格と、社会的評価の向上
指導できないのに、普及員と名乗ったらだめ
優秀な人材が集まる仕組みづくり

3、 サービスの有料化

本当に必要なサービスが見えてくる
事業担当者も、利用農業者サイドもより真剣になる

現状 サービスの安売 ニーズの無いところで、

4、 情報バンクの設立

基本的な指導内容が、全国どこでも利用できる

想定できる、Q&Aがすべて網羅されている
ネットでの情報サービスの、向上

5、実績、評価があいまい

成果のでない、普及員は、やめる 部署をかえる
しっかりとした数値に落とす

(所得向上、生産量拡大目標 奨励品目の作付け面積・・・)

6、絶対必要資格と、付加価値資格

1、絶対必要資格 土壌改良資格、野菜栽培技術、米栽培技術 経営……

2、付加価値資格

有機栽培 マーケティング 法人設立 スマートアグリ 輸出

付加価値資格は、その専門との活動の推進

7、その他

1、時代と、サービスにマッチしたネーミングに

改良普及員は、時代にマッチしない

2、民間に任せる取り組みを 企業のコンサルタントを参考

3、一度、農水省の管轄を離れる

組織が大きいと雑務に追われる 一度できる限りシンプルにする

4、1県10人程度の普及員にあとは見習い

5、見習い期間に最低3年以上の、現場研修必須

6、拠点を、大学内に置く

7、優秀なOBにその資格を与える『実績、能力、農業者からの信頼が伴う』

優秀な人を集める、優秀な人を残す

別途参考資料

就農を目指す研修生のための成功への条件

就農を目指す研修生のための 成功への条件

デコポン本気百将塾生資料
平成16年2月11日作成
平成17年2月11日一部訂正

1. 謙虚さと愛嬌
(農家に好かれること) (何からでも学ぶ姿勢を持つこと) (1日10回ありがとう)
2. 共有の精神
(ない・ない・ないをある・ある・あるに)
(農地の共有・労働の共有・機械の共有・技術情報の共有・利益の共有・感動の共有・目標(ビジョン)の共有・販売の共有……)
3. 師匠をもつ、ライバルを持つ
(一人では成功できないことを知る) (誰と組むか、誰を師匠にするか、誰をライバルにするか)
4. オリジナルな商品をつくること
(独自の栽培技術・独自の商品・品種、品目の選定)
5. 土の世界をしっかりと勉強すること。微生物の存在をしっかりと認識すること。
(基本はなんといっても土作り。そのために見えない世界を大切にする)
6. 人格を磨くこと
(人格に優る能力なし、何よりの資産となる)
7. 絶えず5年後のビジョンがあること
(夢、目標によって成功はきまる)
8. 経営的センスを持つこと。
(農業といえども経営。概念が必要・意識が必要・責任が必要・他人任せは経営でない)
9. 自ら生産する野菜に愛情を持つこと
10. 新3K 健康・カッコいい・そして金になる
(真3K 感動・感謝・感性 3Kの精神を大切に)
11. 次の時代を読める
(ハイクオリティ・機能性・味・栄養価・安全性…)
(バイオマス・トレイサビリティ・グリーンツーリズム・オンリーワン・食育・農的生活 これら すべて潜在農力)
12. 仕掛ける農業
(ブームを作る/イチジクブーム、もち麦ブーム、菊芋ブーム…)
(農業がレジャーになる・ファッションになる・農作業がゲームになる)
(ヒット商品をつくる)
13. いかに異業種と組むか、ファンをつくるか
(人間ネットワークをいかに構築していくか)
14. 日の出前の作業
(金になる木のひとつ/早起木 時間の価値に気づく)
15. 如何につくるか、いかに売るか
(販売戦略をしっかりとつ/ネーミング、パッケージ、量目、ポップ、メッセージ、店頭販売、食べ方の提案 等)